

令和6年度第一回当別町新庁舎建設検討委員会報告書

- 1 日 時 令和6年11月29日（金） 9：30～10：30
- 2 場 所 役場第二庁舎
- 3 出席者
(出席委員) 高橋委員長、和田副委員長、石田委員、松岡委員、袴田委員、小貫委員、今堀委員
(町及び事務局)
【事務局】 長谷川企画部参与、遊佐事業推進課長
事業推進課 米内主幹、越智主任
- 4 傍聴者 5名
- 5 会議概要
開会后、次第により、次のとおり委員会を取り進めた。
 - ・委員長挨拶
 - ・議 事
米内主幹より「①令和6年度の検討内容について」を資料に基づき説明した。
 - ・質 疑
委 員：検討結果が出てから詳細を問うものだと思っているため、内容について聞きたいことはないが、スケジュール感として今年はあと何回開催を考えているのか。
事 務 局：スケジュールについては、二回目の検討委員会で調査結果の報告をしたいと考えています。具体的な日取りとして、二回目は1月中の開催を予定しています。
委 員：同様に検討結果が出てからでなければ何も進まないが、改修案の説明を受け（意見） る中で、これだけの改修をもしも全部やるとするならば、結構な費用が掛かるのではないかと予想され、改修にこれだけの費用を使ったのであれば、新庁舎建設の予定はまた先送りになるのではないかと懸念する。
委 員：次回の検討委員会の際に改修の可否を検討すると思うが、改修工事後の耐用（意見） 年数があとどれほどのものなのか、という情報も次回の委員会開催時にあると、より深く検討できると考える。
委 員：調査結果の報告を聞かないと何とも言えないが、前年度の検討委員会の中で（意見） 新庁舎建築を進めるとするのは、高額な費用が掛かること、役場を取り巻く状況の変化があったため、一度検討の段階から外そうという意見があったと記憶していた。しかし、今回の改修案の費用感を聞いたときに、改修を行うにしても費用面でかなり高額になりそうな見込みがあるとするのであれば、

やはり新築前提で検討を進めてよいのではないかと考える。

委員：検討内容の報告を聞かないことには何も申し上げることはできないが、改修（意見）を行うにしろ、新築で建築するにしろ、現庁舎を壊し、仮庁舎を建てるような内容となるのであれば町民へのサービスの著しい低下が懸念されるため、そのようなことが起こらないような検討を進めていただきたい。

委員：次回の検討委員会までに費用感、仮庁舎建設の費用感、新築で安く建てられる方法がないかを挙げていただき、その中でどの方策が一番得策であるのか検討・協議していきたいと考えている。

改修工事を行うとして、その場合役場庁舎の耐用年数はどのくらいとなるのか。

事務局：役場庁舎は鉄筋コンクリート造となっており、一般的に耐用年数は60年となっています。

庁舎改修を行う場合、鉄筋コンクリート造という素材を変えることができないため、改修工事を行うとしても耐用年数が延びるということではありません。

現庁舎が建築されてから約50年程度経過しているため、改修工事を行ったとしても、10～15年後には新庁舎の検討を行わなければならないものとなっています。

委員：本庁舎の耐用年数がすでに待ったなしの状況となっているということを町民が認識しなければならない問題であり、事務局からの説明があったとおり、改修工事を行ったとしても、新庁舎を建設しなければならない状況であり、建築費以外にも副次的に費用が掛かってくることは否めないため、個人的な意見としては早めに新庁舎の検討を進めるべきだと考える。

事務局：調査結果が出てから詳細な回答をさせていただきたいと思います。

12月中には正式な改修の調査結果が手元にくるため、以前新庁舎の建築に対する費用感を50億程度で見積もっていたが、現在の単価に当てはめた場合に額に変動がある可能性はあるため、次回の検討委員会までに参考比較できるよう新築の建築費用として出せるよう取り組んでいきます。

委員：新築で検討を行う場合、建設場所はどこで検討をしているのか。

事務局：今、この会議で示しているなかでは、新庁舎建設検討を行う際には、農協、旧当別小学校跡地、白樺コミュニティセンター、現役場庁舎の四か所を候補としており、それぞれの土地に魅力的な面もあれば、厳しいところもあることも認識している。また、この四つしか候補地がないか、という点でも協議を事務局内で行っています。

改修工事を検討するとなれば、当然現庁舎が建築箇所となるが、内容説明の中でもあったように、仮庁舎の建設が必要となるなど、検討内容が多岐にわ

たるため、委員の皆様からアイディアを提示いただければと考えています。

委員長：ありがとうございました。

本日は、今年度検討委員会の検討状況について事務局より説明いただきました。令和5年度に、既存施設の利活用調査を行い既存施設の状況や活用の組み合わせ、整備方針について整理しました。

今年度は、事務局より説明があったとおり現庁舎の耐震化調査結果を踏まえ、現庁舎の耐震化改修又は新築に関する意見交換を次回以降協議していくことになりますので、引き続き、委員皆様のご協力をいただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

- ・その他

事務局より、次回の今年度二回目の委員会は1月に開催する旨、連絡した。

資料も事前にお示しできるような形で調整する旨、連絡した。

以上